



PRICE LIST	
GNOSIS CVS	
19インチ (7.5J~12.5J)	8万8000円~
20インチ (8.0J~12.5J)	10万1000円~
21インチ (8.5J~12.5J)	11万8800円~
22インチ (8.5J~12.5J)	14万6300円~



ポーランド・カルボネール製のキットを装着し片側50mmワイド化されたボディ。ボンネットやルーフ、サイドはフォードカーボンによって彩られている。車高は純正足まわりの優位性を活かしてダウンサスのみを使用。

黄色。太陽に向かって真っすぐに伸び輝くひまわりを連想させるようなカラーを纏ったクルマがここにある。カスタムカーの限界に挑戦し続けるプラストが手掛けたAMG GT Sが圧倒的な存在感を放っていた。クルマ本来が持つオーラもさることながら、ここにさらに光る個性を加えることで、見る者の心をつらえて離さない。

ワークの、ゲノシスCVSだ。シンプルかつシャープなデザインが特徴的で、クルマとの調和を極限まで追求して開発されたという。ナットホールやピアスボルト部分以外はすべて直線的なデザインなのに、シャープさだけが際立つことはない。中心から拡がる絶妙な全体のひねりと、スポーク先端に向かうにつれ細く描かれていくシルエットは、直線の中に曲線的な柔らかさがあるかのよう錯覚させる。それが、AMG GT Sの描く車体の曲線美に寄り添うような統一感をつくり出している。

足元きらりと光る パーフェクト・ヒール

WORK GNOSIS CVS for AMG GT S

2つのコンケープから選択することができる。リムはスタンダードリムだけでなく、ステップリムも用意されている。0.5J刻みでリム幅を設定することはもちろん、ミリ単位でのオーダーインセットをすることも可能だ。ワイドボディキットが装着され、純正とはマッチングを異にするこのAMG GT Sには、フロント10.0J、リヤ12.5Jという20インチのCVSが組み合わされた。インセットを詰めていくことだって、もちろん忘れない。そこに

は285/30、305/30の太さを持つシユラン・パイロットスポーツ4Sタイヤが自然な雰囲気と備わる。少しでもちぐはぐだと全体のバランスが崩れてしまう。細かなサイズ調整ができることは、スタイリングをするにあたってとても大きな意味を持つ。最高の一台を仕上げるにあたって、どんな小さな妥協もしたくないからだ。そのこだわりをCVSは叶えてくれる。

ことで、軽やかに、決めすぎない抜け感が演出された。さらには、スポークエンドの先端に入っているアンダーカットによって、より軽快感が生まれている。見えるようで見えない細部にまで宿っているワークのこだわりはスポットライトがあたる。CVSはパフォーマンス面でも信頼性が高い。強度に優れ、それでいて軽い。ブレーキ周りの放熱性も優れている。風を切って疾走するAMG GT Sを涼しい顔して受け止めながら、そこに美しい造形を持ち込み、まるでハイヒールのように足元を彩る。それはAMG GT Sの新たな魅力を引き出しているようだった。繊細な美しさがありながら力強く、時には妖艶な瞬間を垣間見せながら、その走りを支えるホイールがここにあった。



上)広い開口部と伸びやかな形状によってかきや赤のキャリパーがとどろいて映える。右)軽快さの秘密はスポークエッジの角度によって見えないスポークデザイン。